

薄型リッド両開きコンソール

菱田 裕^{*1}

Double Open Thin-Type Rid Console

Yu Hishida^{*1}

1. はじめに

近年のプラットフォームは操縦安定性から低重心になり、シート位置が従来より低くなる傾向にある。

それにより、従来の両開きコンソールリッドの上面位置では位置が高く操作を阻害する恐れがある(図-1, 図-2)。

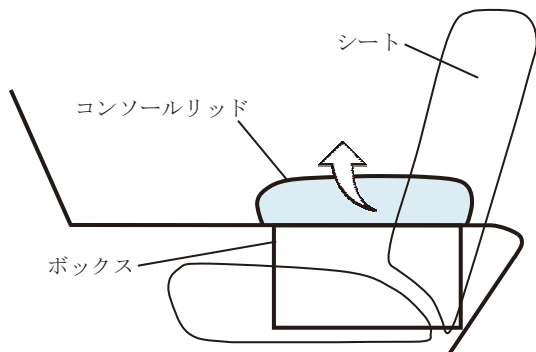


図-1 センターコンソール動向 (従来)

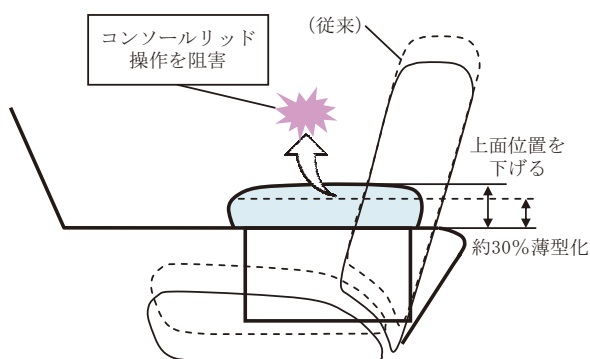


図-2 センターコンソール動向 (近年)

今回、ボックス内にCD等を収納させるために必要な容量を満足させ、従来の両開きコンソールリッドに対し上面位置を下げるために約30%薄型化した両開きコンソールを開発、量産化したのでその概要について紹介する。

2. 製品の概要

本製品は、コンソールリッドの薄型化を達成させるため、従来コンソールリッド内に搭載されていた操作ボタンを側面のパネルに搭載。ボタン機構(ボタン位置はボックスの容量に影響ないようにボックス前側に設定)とリッド内ロック機構を連動させ操作できる構造としリッドを薄型化することができた(図-3)。

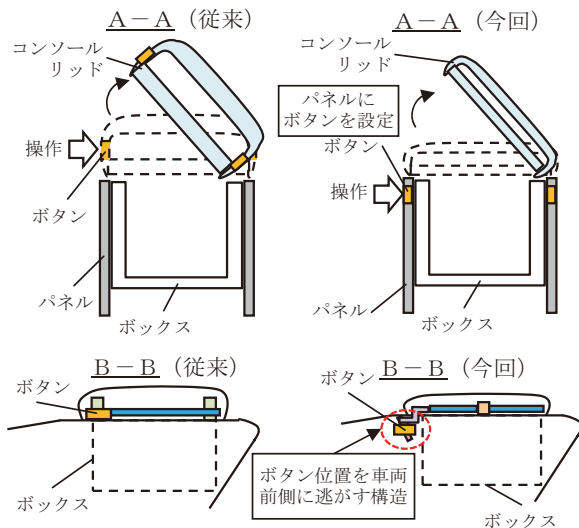
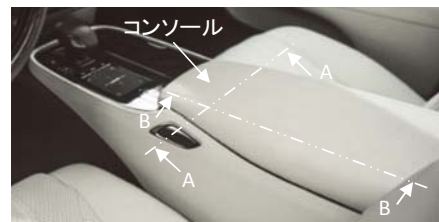


図-3 製品概要

3. 開発の狙いとポイント

今回の開発品は、ボタンと連結しているリンクとリッドインナーへ取り付けられた回転式ロック機構によりコンソールリッド開き時のロック解除、閉め時のロックを両立。ボタン機構とロック

*1 IE 技術部 機構品技術室

機構を分離することによりリッドの薄型化を可能とした。

ロック時のロック機構を図-4-1、ボタン機構を図-4-2、ロック解除時のロック機構を図-5-1、ボタン機構を図-5-2に示す。

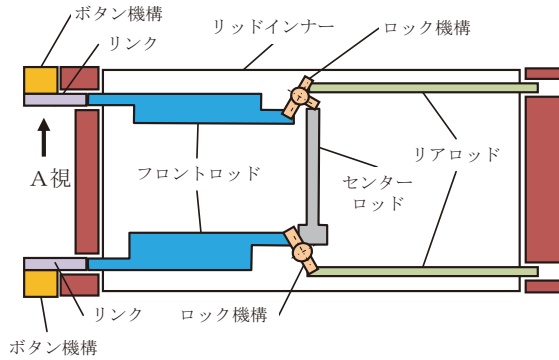


図-4-1 ロック機構 (ロック時)

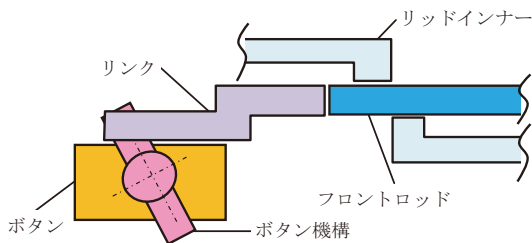


図-4-2 A 視 ボタン機構 (ロック時)

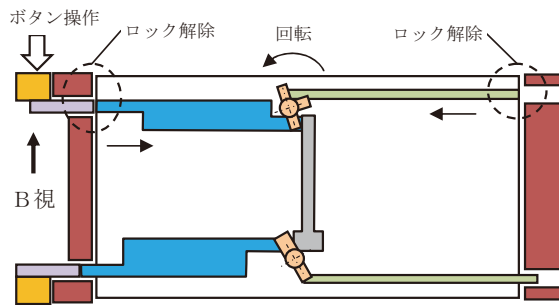


図-5-1 ロック機構 (ロック解除時)

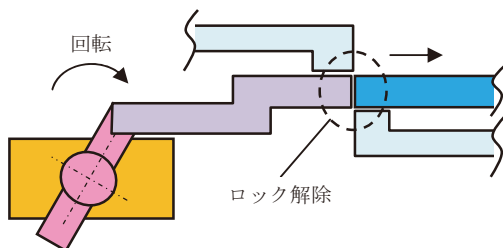


図-5-2 B 視 ボタン機構 (ロック解除時)

4. おわりに

今回紹介したコンソールはレクサス LS に採用され量産化されることになりました。

最後に、この製品の開発・量産化に際し、ご支援、ご指導いただきましたトヨタ自動車株式会社レクサスボデー設計部 内装設計室、田原工場品質管理部 車両技術員室並びに関係部署、関係会社の方々に厚くお礼を申し上げます。

著 者



菱田 裕